

水産B

〔例題1〕 ホタテガイの種苗生産に関する次の記述の空欄A～Eに該当する語を次の語群から選び、その記号を記入しなさい。

1. 採苗の方法は、ポリエチレン製の やハイゼックス製のかごの中にハイゼックスフィルム、古網などを入れたものを として海中に垂下して、天然採苗を行う。
2. は稚貝を付着させるだけでなく、 まで脱落を防止するよう改良されており、 の分布が密な水塊に設置する。
3. 直前の幼生が多く出たときを見計らって 設置の予報が出されている。

語群

ア. 浮遊幼生	イ. 採卵用いけす	ウ. 採苗器
エ. 変態期	オ. タマネギ袋	カ. 着底期
キ. 土俵袋	ク. 付着期	ケ. 中間育成時
コ. 健苗育成時	サ. 塩分	シ. プランクトンネット

【正答】

A	B	C	D	E
オ	ウ	ケ	ア	ク

水産B

〔例題2〕 漁業経営の安定に向けた取組に関する次の記述の空欄A～Eに該当する語を次の語群から選び、その記号を記入しなさい。

1. 北海道の漁船漁家は、生産量の減少や経費の増大などにより厳しい漁業経営が続いていることから、漁業経営の改善に向けて、協業化や共同化などによる の低減や多角的な事業展開などに取り組み、 の強化や生産性の向上を進める必要がある。
2. 協業化や共同化とは、2人以上（法人を含む）の経営体が漁船や従事者、漁具等の生産手段を共有し、利益配分や漁業経営を共同で管理運営する方式である。 漁業では法人経営体が多い現状にあり、共同で操業することにより の低減を進めている。
3. 北海道の漁業就業者は長期にわたり減少を続けているとともに、高齢化が進んでいる。漁業就業者数の減少と高齢化は、産業基盤の や漁村地域の活力低下をまねき、本道の漁業と漁村の持続的な発展に大きな影響を及ぼす懸念があることから、 の確保・育成を図っていくことが重要な課題となっている。

語群

ア. 住宅環境	イ. 分業化	ウ. 経営基盤	エ. さけ定置
オ. 担い手	カ. ストレス	キ. 高度化	ク. 密漁対策
ケ. 弱体化	コ. コスト	サ. 採そう	シ. 水産資源

【正答】

A	B	C	D	E
コ	ウ	エ	ケ	オ